

名古屋市緑区役所

緑区民の皆さまへ

～笑顔のあふれるまちをめざして～

緑区では、このたび、令和6年度から10年度までのまちづくりの指針となる「第2期緑区将来ビジョン」を策定しました。

この将来ビジョンは、めざすべき緑区の姿とそれに向けた針路を区民の皆さまと共有し、その実現に向けて次の5年間にける区役所はじめ区内の行政機関の取り組みについて、お示しするものです。

「笑顔のあふれるまちをめざして」という、これまで掲げてきた緑区の基本理念を継承し、安心・安全で住みよい緑区を実現していきたいと考えています。職員一丸となり、努力してまいりますので、区民の皆さまお一人おひとりのご支援・ご協力をお願いします。

令和6年5月 緑区長

緑 区

区のシンボルマーク



みどりの「み」と木の葉をデザイン化したもので、緑区が無限に成長する願いも込められています。

区のマスコット・キャラクター／みどりっち



緑区の「みどり」と「豊か＝リッチ」をあわせ命名され、緑区の魅力をPRするため、各種イベントで活躍しています。区役所にモニュメントがあります。

区の木／カエデ



秋の庭園を彩るイロハモミジは、カエデを代表する木です。4月から5月にかけて、暗赤色の小さな花が、やや垂れ下がって咲きます。

区の花／ミヤコワスレ



本州以南の山地に自生するミヤマヨメナの園芸品種です。夏の初めに咲く多年草で、濃紫色花のほか淡紅色花・白色花などがあります。

目 次

contents

I	緑区ってどんなまち？	P 1
II	緑区をとりまく状況とめざすべき将来像	P 5
	1 暮らしと環境	
	2 福祉と健康	
	3 まちの魅力・活力	
III	将来像の実現に向けた戦略・施策	P11
	1. 3つの戦略	
	2. 5つの施策	
IV	区政運営の推進にあたって	P18
(参考)		P19
	1. 将来ビジョン策定の位置づけ	
	2. 各将来像に掲げる成果指標	
	3. 第1期緑区将来ビジョンの取り組み結果	

エスディーゼーズ

SDGs について

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて掲載された世界共通の目標で、健康や教育、経済成長、気候変動に関するものなど、多岐にわたる17の目標と169のターゲットが設定されており、令和12(2030)年までの達成をめざすものです。



Ⅰ 緑区ってどんなまち？

緑区の特徴を紹介！

～歴史・文化の風薫るまち～

新しいまちづくりが進むなど発展を遂げつつある一方で、今でも昔の面影が濃く見られます。神話が語り継がれるまち、戦国時代をしのぶ旧跡、伝統産業として江戸時代から続く「絞り」や「酒造り」、各地で続く特色ある祭りなど、歴史・伝統文化にまつわる資源が豊富にあり、継承されています。



【古くから残る町並み】



【有松・鳴海絞り】



【氷上姉子神社】



市内
唯一！

有松の町について

日本遺産に認定
重要伝統的建造物群保存地区に選定

～四季を味わえるまち～

面積が市内2番目に大きく、公園、緑地、ため池が多くあります。坂やカーブが多く起伏に富んだ地形は美しい景観を形作り、季節のうつろいを感じられます。

地域の特産として、ブロッコリー、タマネギ、ぶどうが主に生産されているほか、あいちの伝統野菜に大高菜と徳重だいこんの2品目が選定されています。また、区内に点在する直売所では旬のおいしい果物などを、朝市や食品スーパーの産直コーナーではとれたて新鮮野菜などを身近に味わえます。



【大高緑地】



【要池公園】



【新鮮野菜の直売】

～人の息遣いが感じられるまち～

人口及び世帯数は市内最多です。出生数、年少人口も市内最多で若いまちである一方、元気な高齢者も多く活気にあふれています。

子どもや高齢者の見守り、清掃、花植え、防災や観光など、自主的に活動される多くのボランティア・団体が地域で活躍されています。



【子どもと高齢者との交流】



【花植え活動】



【地域による見守り活動】



市内
一番！

人口 247,701 人（令和 5 年 10 月 1 日現在）

世帯数 104,252 世帯（令和 5 年 10 月 1 日現在）

学区数 28 学区（令和 5 年 10 月 1 日現在）

出生数 1,965 人（令和 4 年 10 月～令和 5 年 9 月）

年少（0 歳から 14 歳）人口 35,680 人（令和 5 年 10 月 1 日現在）

認可保育施設数 97 カ所（令和 5 年 4 月 1 日現在）

高齢者（65 歳以上）数 59,229 人（令和 5 年 10 月 1 日現在）

出典：統計なごや web 版、名古屋市の保育所等認可施設・事業所一覧、令和 5 年度版 数字でみる緑区

～暮らしにちょうどいいまち～

主要な幹線道路、高速道路が走るほか、地下鉄、JR、名鉄の駅があり、都心への交通アクセスが便利です。

郊外型商業施設や飲食店、地域密着型の医療機関の立地など都心のベッドタウンとして住みやすいまちが形作られています。また、持ち家比率も市内一番です。



【名古屋第二環状自動車道】



【地下鉄】



【みどり市民病院】

緑区の自慢の一



A 新海池



B 成海神社のだるま



C 有松のまち



D 細根山



E 名鉄自動車学校内の旧鳴海球場跡



F 大高の酒蔵



G 桶狭間古戦場公園の近世の曙



H 滝ノ水公園



マ、紹介します!



I 扇川の桜



J 大高緑地の一本木



K ユメリア徳重

これまでの緑区の歩み(略年表)

- 昭和 38 年 愛知郡鳴海町が名古屋市に編入し、緑区が誕生
- 昭和 39 年 知多郡有松町と大高町が緑区に編入
- 昭和 49 年 緑区役所新庁舎開庁
緑区シンボルマークが決定 
- 平成 元 年 名古屋市制 100 周年、区の木と区の花が決定
- 平成 22 年 ユメリア徳重が開設
- 平成 23 年 市営地下鉄桜通線の野並～徳重間が開通
- 平成 25 年 緑区制 50 周年、「みどりっち」が誕生
- 平成 28 年 有松の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
- 令和 元 年 「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地～藍染が風にゆれる町 有松～」が日本遺産に認定
- 令和 5 年 緑区制 60 周年 



L 熊野社



M 鳴海配水塔

II

緑区をとりまく状況とめざすべき将来像

1 暮らしと環境

(1) 現状と課題

地域主体で、防犯、防災、まちの美化などの活動に取り組み、緑豊かな自然環境や安心・安全で快適な環境が保たれています。一方、特殊詐欺などの増加や甚大な被害をもたらす自然災害のおそれといった社会不安がある中、高齢化の進展等により活動の担い手が不足していく懸念があります。

《交通安全と防犯》

- ・ 地域住民による児童の見守り活動や、交通安全の啓発活動が積極的に行われている一方で、人口や自動車登録台数が多く、区域も広いことから、交通事故件数も多い状況にあります。
- ・ 人口の多い緑区において、自動車盗や自転車盗、高齢者を狙った特殊詐欺などの犯罪が増加しており、被害者数や被害額の増大が懸念されています。



【ハンドアップ運動】



出典：愛知県警察生活安全総務課

《快適な環境》

- ・ 大きい公園や河川、ため池など豊かな自然を感じられる環境に恵まれています。また、起伏に富んだ地形により、様々なまちの表情を見せてくれています。
- ・ 地域住民の積極的な参加による、清掃活動や花植え、ごみの分別など生活環境を守る活動が、区内各所で行われています。

《災害への対応》

- ・ 起伏に富んだ地形のため、地震による建物倒壊や液状化、津波、また大雨による浸水や土砂災害など多様な災害が発生する懸念があります。
- ・ 家庭で災害への備えをしている人の割合は6割で、上昇傾向にあります。



【親子で防災について学び、災害に備える】

＊緑区における南海トラフ地震の被害想定

～あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震発生の場合～

想定最大震度：7 死者数：約 200 人

基準水位：3.0m 以上～ 5.0m 未満

建物全壊（うち火災によるもの）：約 3,000 棟（約 1,000 棟）

出典：東海・東南海・南海三連動地震等に被害想定及び防災・減災対策推進のための調査検討

《移動のしやすさ》

- ・名古屋第二環状自動車道の整備や地下鉄桜通線の徳重駅までの延伸をはじめ、高速道路や鉄道などの交通基盤は一定整備されていますが、渋滞が発生している箇所もあり、一層の強化が求められています。
- ・交通手段が複数ある都心へのアクセスの利便性に比べ、区内移動の利便性に課題があります。

《地域を支える活動》

- ・まちづくりだけでなく、防災や観光など様々な分野で多くのボランティア・団体が自主的・主体的に地域で活動されています。
- ・町内会や自治会の加入率は低下傾向にあり、高齢化等が進展していく中で、地域活動やボランティアの担い手が不足する懸念があります。



出典：学区別生活環境指標（地域振興課）

(2) めざす姿

防犯、防災、まちの美化、交通事故の防止等の活動に、多くの人が地域ぐるみで取り組んでいて、まち全体として、災害に強く、安心・安全で快適なまちになっています。

将来像 1

安心・安全で快適に暮らせるまち



2 福祉と健康

(1) 現状と課題

子育てや健康づくりに適した豊かな自然環境の中で、子育て世帯や元気な高齢者も多く暮らしています。一方で、子育てに不安を抱える世帯への支援や長寿社会への対応、また、障害の有無や性別、国籍など多様性を尊重し、誰もが安心して生活できることが求められています。

《子どもの健やかな成長》

- ・ 出生数、年少人口数、区人口に占める年少人口の割合とも市内最多で、子育て世帯が多く暮らしています。
- ・ 公園や緑地、ため池など自然豊かであり、子どもがのびのびと遊べる環境が整っています。
- ・ 核家族化の進展や、世代間での交流機会の減少等により、子育てに対する不安・悩みや孤立感を抱える世帯への支援が求められています。



【豊かな自然を生かした遊び】

《長寿社会の安心》

- ・ 高齢者数は市内最多で、要介護・要支援認定者数も市内最多です。しかし、高齢者に占める要介護・要支援認定率は市内で最も低く、健康寿命は市内でもトップクラスに位置しており、元気な高齢者が多く暮らしています。
- ・ 起伏に富んだ地形に加え、区内をつなぐ交通網に課題がある現状では、自動車運転免許の返納も一因となり、高齢者が活動する機会の減少を招くおそれがあります。



出典：令和5年度版 数字でみる緑区



【ふれあい・いきいきサロン】

《多様性の認め合い》

- ・ 東京 2020 パラリンピック競技大会が開催されたことにより国内での障害者への理解が深まったこともあり、障害のある人もない人も、人格と個性を尊重し合いながら共に生きる社会の実現が求められています。
- ・ 性別、年齢、国籍など多様性を認め合い、誰もが自分らしく、いきいきと暮らしていける社会の実現が求められています。



【障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい】

《複雑化・複合化する生活課題への対応》

- ・ 8050 問題、ヤングケアラー、ひきこもり、孤立・孤独など複雑化、複合化している生活課題に対して、単一の専門分野の制度利用や支援だけでは十分対応できない状況も発生しています。

《健康や生きがいづくり》

- ・ 大高緑地や数多くの公園、スポーツセンターなど、身体を動かせる場所が多くあります。一方で、心身の健康を保持増進するとともに、各種スポーツ大会の開催により、地域の一体感や活力を醸成する機会への支援が求められています。
- ・ 文化芸術を身近に感じるとともに、若者から高齢者まで嗜好に応じた創作活動を行うことができるように、文化団体の活動成果を発表できる機会への支援が求められています。



【生涯を通じた生きがいづくり】

(2) めざす姿

人と人との助け合いや交流により、子育てや健康づくりがしやすく、恵まれた自然環境を生かし、誰もが自分らしく心豊かに生活できるまちになっています。

将来像 2

子ども・高齢者・障害者

誰もがいきいきと暮らせるまち



3 まちの魅力・活力

(1) 現状と課題

新旧のまちが共存する中、各所において有志の方々により、歴史・文化が大切に受け継がれており、観光推進・魅力発信に取り組んでいます。一方で、さらなる観光推進が求められている中で、歴史・文化の継承の担い手不足が懸念されています。

《歴史・文化への愛着》

- ・ 神話の時代から近世に至るまで様々な物語が語り継がれています。鳴海、有松、桶狭間、大高、徳重など各所にある史跡や特色あるまつりなどの伝統文化が、区全体の魅力を形作っています。
- ・ 歴史資源や伝統産業などの歴史・文化を大切にし続けてきた人々の高齢化の進展やなり手不足により、将来にわたっての継承への懸念があります。



【山車揃え】



【桶狭間古戦場まつり万灯会】



【猩々】

- ・ 有松・鳴海絞りは、伝統的工芸品として受け継がれています。
- ・ 大高菜、徳重だいこんがあいちの伝統野菜に選定されています。



【絞りの匠の技】



【徳重だいこん】



【大高菜】

国指定文化財 2 件／県指定文化財 3 件／市指定文化財 11 件
日本遺産 1 件／国登録文化財 4 箇所

出典：名古屋市集計（令和 5 年 4 月）

《魅力の発信と観光推進》

- ・ 区内の商工会・市民団体・区役所からなる緑区観光推進協議会をはじめ、各所での観光案内やボランティアによるガイドなどにより、観光を推進しています。
- ・ 観光資源やまちの魅力の維持・発展のために、交流人口を増大させる観光推進の戦略が求められています。
- ・ 緑区の観光大使を任命し、魅力を PR・発信しています。

《自然や町並み》

- ・ 豊かな自然と起伏に富んだ地形があり、都市公園数が市内最多です。
- ・ 地下鉄の徳重駅周辺など、新興住宅地として開発が進んでいるまちがある一方で、歴史的な景観が残るまちもあり、新旧のまちが共存しています。



【丘陵地を生かしたぶどう生産】

(2) めざす姿

区民一人ひとりが歴史・文化や観光資源の魅力に対する誇りと愛着を感じながら、自らその発信の担い手となって、他の地域から多くの交流を呼び込んでいます。また、歴史・文化の担い手も増え、魅力が持続的に継承されるまちになっています。

将来像 3

魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち



III

将来像の実現に向けた戦略・施策

1

3つの戦略

P1～2で述べた「歴史・文化の風薫るまち」「四季を味わえるまち」「人の息遣いが感じられるまち」「暮らしにちょうどいいまち」という特色がある緑区は、歴史・文化に誇りと愛着をもち、それを伝え広めようとする方々、暮らしやすい地域づくりのために、活動を行っている方々、日々元気に暮らし、様々な活動でまちを活性化する方々など、多くの人々のつながりによって支えられています。

このような区民の皆さまの特性がこれまでのまちづくりを支えてきた強みであり、これから3つの将来像を実現していくにあたって、なくてはならないものであることから、「人と人とのつながり」「心と身体の健康」「誇りと愛着」をより強化するよう、様々な施策を展開することがより有効であると考えます。

基本理念：笑顔のあふれるまちをめざして

将来像 2

子ども・高齢者・障害者
誰もがいきいきと
暮らせるまち

将来像 1

安心・安全で快適に
暮らせるまち

将来像 3

魅力にあふれ歴史・文化を
大切にするまち

強みを生かした
戦略を展開

強み

人と人との
つながり

心と身体の
健康

誇りと愛着

戦略1 まちの総合力の強化

これまで紡いできた“つながり”を大切にしながら、地域や個々の枠組みを超えた新たなつながりづくりをすすめることで、皆で支え合うまちの総合力を高めます。

戦略2 ひと・まちの活力の向上

豊かな自然や地形の起伏も生かした心と身体健康づくりや、お互いが個性を尊重し合い、安心感や幸せに包まれた社会づくりをすすめることで、ひと・まちの活力を高めます。

戦略3 誇りや郷土愛の醸成

区の誇れるもの・すばらしさをさらに磨くとともに、知られざる魅力を発掘・発信し、受け継いでいくことで、誇りや郷土愛を醸成します。



クアオルト® 健康ウォーキングを軸とした次世代観光まちづくり

クアオルト健康ウォーキングは、癒しやリフレッシュ効果などの治療要素を持つ自然の中を適切な負荷をかけながら歩く、ドイツ発祥の「がんばらない」ウォーキングです。心筋梗塞や狭心症のリハビリ、高血圧の治療法としての効果も認められており、ドイツでは公的医療保険の対象になっています。

緑区は、豊かな自然や起伏に富んだ地形に恵まれています。また、各所には歴史・文化資源がたくさん残されています。この自然の魅力と歴史の魅力を組み合わせることで、まちの魅力を感じながら、健康になれる新しいウォーキングが可能になります。

健康のためにウォーキングする人がまちの魅力を再発見し、観光に訪れた人が健康になっていく、そうした新しい価値を持つクアオルト健康ウォーキングを緑区中に展開していきます。区民の皆さまも訪れた人も、より健康になり、緑区の魅力をも十分に感じられる、そうしたまちづくりを推進していきます。



2 5つの施策

3つの戦略のもとで、めざすべき将来像の実現に向け、5つの施策に取り組めます。

施策1：地域を主体とした住みよいまちづくり

防犯、交通安全、防災など安心・安全・快適なまちの実現に向け「自分の住む地域は自分達で住みよくする」という、地域主体の活動を支援するなど、様々な取り組みを進めます。

＜主な取り組み＞

- 交通安全・防犯などの対策や啓発
- 町を美しくする運動の推進
- 資源・ごみの分別の推進
- ペットの愛護と適正飼育の普及啓発
- 地震や風水害を想定した防災訓練による自助力・共助力向上
- 防災・減災の情報発信による防災意識の向上
- 道路・公園・市街地の整備
- 公共交通機関の利便性の向上



【町を美しくする運動】



【地域での防犯パトロール】



【地域ぐるみの防災訓練】

施策2：地域・世代を超えてつながるまちづくり

住む地域・世代、日頃の活動分野の垣根を超えた交流とつながりを支援するとともに、公民協働での取り組みを進めます。

《主な取り組み》

- 区民のふれあいと交流の場の創出
- 町内会・自治会・子ども会の魅力の再発見による、地域力・共助力の向上
- 各種ボランティアとの協働と活動の支援
- 区内農家との交流による地産地消の推進



【区内農家との交流】



【子ども会を通じた子ども同士のつながり】



【区民のふれあい（区民まつり）】



【ボランティアとの協働による事業推進】

施策3：誰もが自分らしく輝けるまちづくり

誰もが安心感や幸せに包まれ自分らしく輝けるよう支援するとともに、複雑化・複合化する課題解決に向け、地域・行政・関係団体がチームで取り組みを進めます。

《主な取り組み》

- 子どもが健やかに育つ環境と居場所づくり
- 安心して子育てができる環境づくり
- 元気な高齢者の地域や社会での活躍の推進
- 要介護状態になっても住み慣れた地域で生活できるまちの実現
- 国籍、性別、障害の有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合い共にいきいきと暮らしていける地域社会の実現
- 複雑化・複合化した生活課題に対応する包括的な支援



【子育て環境づくり（みどり親育ちの学校）】



【プレーパークによる子どもの居場所づくり】



【老人クラブ活動】



【授産製品販売支援】

施策4：暮らしの中で健康になれるまちづくり

誰もが心と身体が健康で生きがいを持って生活できるよう、様々な健康づくり、区民のスポーツ・文化芸術の活動を支援します。

《主な取り組み》

- 生活習慣病の予防や健康寿命の延伸
- 豊かな自然や起伏を生かした健康づくりと健康増進を通じたコミュニティづくり
- スポーツ活動・文化・芸術に親しむことのできる環境づくり



【きらきらマン体操による介護予防】



【豊かな自然や起伏を生かした健康づくり】



【芸術を身近に感じる場の提供】



【生涯にわたり親しめるスポーツ】

施策 5：地域の魅力を誇りに思えるまちづくり

区の魅力に愛着や誇りが持て、「ずっと住み続けたい」と思えるよう、地域の魅力の発信を推進していくとともに、大好きな緑区を後世につないでいけるような支援をします。

《主な取り組み》

- 歴史・伝統の保存・継承による郷土愛の醸成
- 魅力の再発見と魅力資源の磨き上げ
- 魅力発信の担い手づくり
- 緑区観光推進協議会と連携した緑区の魅力発信と観光推進
- 緑区観光大使による緑区の魅力 PR



【甲冑体験】



【魅力の発信】



【みどりっちによる魅力の PR】



【史跡散策会による郷土愛の醸成】

IV 区政運営の推進にあたって

区民に最も身近な行政機関として、快適で、ニーズを満たしたサービスの提供により、区民の皆さまに満足していただける区役所をめざします。

職員の心構え

- ・職員一人ひとりが緑区をよく知り愛着と誇りを胸に、自らも魅力を発信・自慢できる、緑区大好き！職員をめざします。
- ・所属の枠を超え幅広い視野を持ち、「常により良い区民サービスのために」という気構えで、行動できる職員をめざします。
- ・確かな知識とおもてなしの心で区民に寄り添い、喜んでいただけるサービスが提供できるよう、職員一人ひとりが緑区コンシェルジュ（総合案内人）をめざします。



【所属の枠を超えたチームによるプロジェクト】

《主な取り組み》

- 若者から高齢者まで、幅広い世代の区民ニーズを把握した区政運営
- 質の高い窓口サービスとデジタル技術を活用した利便性の高い市民サービスの提供
- ウェブサイト・SNS を活用した情報発信の充実
- 職員の能力向上と意識改革



【子どもも大人も参加する
みどりっちプラン会議】



【SNS を活用した情報発信】

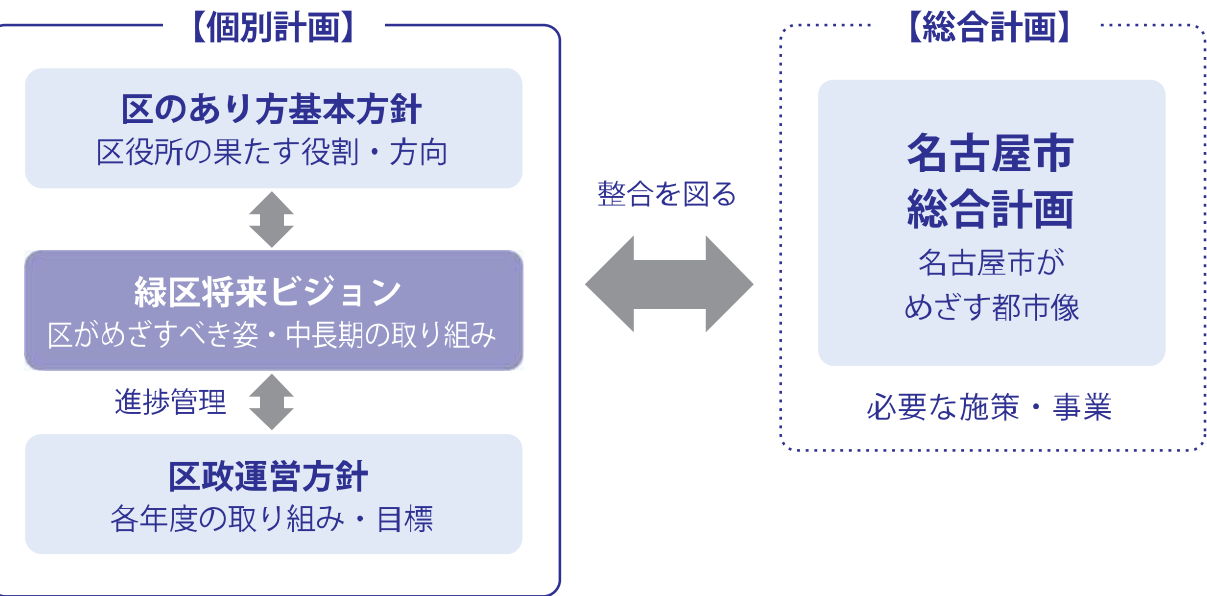
【参考】

1. 将来ビジョン策定の位置づけ

将来ビジョンは、区を取り巻く社会状況を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化するものです。

計画期間は、令和 6（2024）年度から令和 10（2028）年度までの 5 か年計画とします。

《将来ビジョンと総合計画との関係図》



2. 各将来像に掲げる成果指標

取り組みの成果をはかるために成果指標と目標値を設定しました。成果指標の数値は毎年把握をし、各年度の区政運営方針にて進捗管理を行ってまいります。

将来像 1 の成果指標	直近の現状値	目標値（令和 10 年度）
犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	83.4%	86%
家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	62.6%	100%
地域活動やボランティア・NPO 活動に参加する人の割合	42.4%	48%

将来像 2 の成果指標	直近の現状値	目標値（令和 10 年度）
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	86.9%	90%
高齢者にとって住みやすいまちだと思ふ人の割合	70.4%	75%
障害者が安心して暮らしやすいまちだと思ふ人の割合	52.5% ※	60%
健康づくりや生きがいづくりのために、自主的に、健康・スポーツ・文化・学習活動に取り組んでいる人の割合	48.3%	55%

将来像 3 の成果指標	直近の現状値	目標値（令和 10 年度）
緑区の魅力、歴史・文化を区外の人に紹介したいと思ふ人の割合	45.8%	65%
マスコットキャラクター「みどりっち」の認知度	65.3%	70%

※この数値は、「障害者にやさしいまちだと思いますか」という質問に対する回答から算出

3. 第1期緑区将来ビジョンの取り組み結果

(1) 区将来ビジョンに関する取り組みについて

継続して実施した71事業のうち、63事業（およそ9割）が順調に進ちよくしました。一方、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止及び事業縮小せざるを得ない等の理由から8事業（およそ1割）に遅れがみられましたが、来場が難しい方向けにネット環境等を利用し、リモート開催を行ったり、講演会資料をウェブサイトに掲載するなど、コロナ禍であっても、より多くの方が事業に参加できるように工夫し、実施しました。

なお、71事業とは別に、区民会議等による区民意見を踏まえ、当初予定していた7事業を廃止し、新たに4事業を新規で立ち上げました。

(2) 成果指標の推移を踏まえた総括

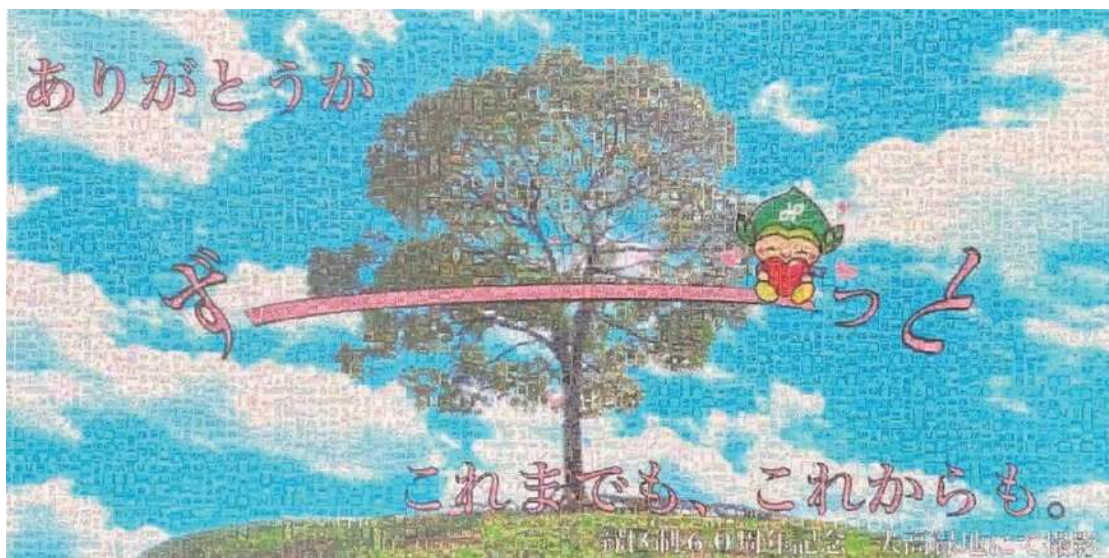
新型コロナウイルス感染症拡大を背景に、地域活動の自粛や祭りなどイベント等の中止、行政サービスの一部の中止や延期等により、区民のふれあいや地域のつながり、緑区の良さ・魅力に触れる機会が減少してしまいました。

一方で、安心・安全にかかる意識や、健康意識が高まっていると考えられます。

取り組みにより成果指標が上昇した指標もありますが、全体としては目標値に達していないため、区の特性を把握した継続的な取り組み・対象や費用対効果を検証した仕掛けが必要と考えます。

【成果指標の数値の推移】

	成果指標	当初値	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標値
将来像1	犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	76.60%	79.49%	79.61%	85.41%	86%
	家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	57.80%	62.27%	59.00%	61.16%	100%
	地域活動やボランティア・NPO 活動に参加する人の割合	42.20%	41.87%	42.42%	38.30%	48%
将来像2	子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	84.90%	85.12%	88.44%	84.98%	86%
	生きがいや楽しみを持って生活していると感じている高齢者の割合	78.30%	82.49%	78.15%	76.55%	80%
	健康寿命	男 80.50 年 女 84.60 年	男+0.17 年 女+0.03 年 (当初値比較)	男+0.45 年 女+0.10 年 (当初値比較)	男+0.47 年 女+0.67 年 (当初値比較)	平均寿命の 伸びを 上回るよう 延伸
	(平均寿命)	男 82.00 年 女 88.07 年	男+0.15 年 女-0.08 年 (当初値比較)	男+0.51 年 女-0.02 年 (当初値比較)	男+0.72 年 女+0.47 年 (当初値比較)	
将来像3	緑区の魅力や歴史・文化を区外の人に紹介したいものがある人の割合	47.80%	54.09%	51.58%	47.85%	65%
	週1回以上の頻度で運動・スポーツを実施する人の割合	39.00%	43.68%	40.66%	42.70%	48%
将来像4	窓口アンケートにおいて、窓口対応に「満足」と答えた人の割合	97.60%	97.60%	98.00%	97.60%	100%
	区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う人の割合	37.00%	37.51%	36.99%	38.73%	45%



緑区制60周年記念事業において、
皆さまからいただいた「ありがとう」の写像是、人と人とのつながりを象徴する存在として、
大高緑地の一本木をモチーフとしたモザイクアートとなりました。
こうしたつながりが今後も続き、緑区がさらに発展してほしいという想いが込められています。



みどりっちの
Facebook



MIDORIKU_MIDORICH

みどりっちの
Instagram



市公式ウェブサイトの
緑区ページ



緑区役所からの
「旬の情報」を
お届けしています！

編集・発行／名古屋市緑区役所企画経理課

〒458-8585 緑区青山二丁目15番地

電話：(052)625-3898

FAX：(052)625-8191

E-mail：a6253898@midori.city.nagoya.lg.jp